**平成２５年度 第５４回都城大会の研究内容について**

**１　研究主題及び部会主題**

　研究主題

「健やかな心と体をはぐくみ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現できる力を培う体育・保健体育科学習の在り方」

　○小学校部会主題　「健やかな心と体をはぐくみ、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる体育科学習を目指して」

　○中学校部会主題　「健やかな心と体をはぐくみ、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる保健体育科学習を目指して」

　○高等学校部会主題　「健やかな心と体をはぐくみ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる保健体育科学習を目指して」

　○特別支援教育部会主題　「健やかな心と体をはぐくみ、運動の楽しさを実感しスポーツライフにつなげる体育科学習を目指して」

**２　研究主題設定の理由**

　【　現状　】

　　近年、我が国においては、科学技術の急速な進歩や経済の発展、国際化、情報化、高齢化が進み、社会環境や人々の価値観の多様化など、社会生活が大きな変化に直面し、精神的ストレスの増大や運動不足など、体育・スポーツの機能や役割の見直しがいっそう問われている。さらに、児童生徒を取り巻く状況は、生活の利便化、少子化、都市化などにより、生活習慣の確立が不十分だったり、地域の大人や異年齢の子どもたちとの交流の場や自然体験の減少など家庭や地域の教育力の低下が指摘され、安心して思い切り遊べる「時間」、「仲間」、「空間」が減少している。

　【　課題　】

　　このような社会環境や生活様式の変化は子どもの心身の発達において様々な影響を与えている。その中で、我が国の体育・保健における課題としては、①運動する子どもとそうでない子どもの二極化や子どもの体力低下傾向が依然深刻であること、②運動への関心や自ら運動する意欲、各種の運動の楽しさや喜び、その基礎となる運動の技能や知識など、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成が十分に図られていない例も見受けられること、③児童生徒が自らの健康管理に必要な情報を収集して判断し、行動を選択していく力が十分身に付いていないこと、④生活習慣の乱れが小学校低学年にも見られるようになったことなどが挙げられる。しかし、本県の児童生徒の体力・運動能力については、経年比較をみると、過去１０年間では、新体力テストのほとんどの項目で上昇傾向を示しており、全国的な課題である中学校女子、高校女子においても向上してきている。今だけでなく、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する基盤を培う授業の一つとして、学校体育の在り方に視点をもつことが課題である。

　【　設定理由　】

　　このような実態から、児童生徒の運動への関心や自ら運動する意欲、各種の運動の楽しさや喜びを味わえるよう自ら考えたり工夫したりすることが重要である。そこで、その基盤となる運動の技能や知識の獲得方法など運動に親しむための指導方法を工夫することで、運動の楽しさや喜びを味わい、豊かな心と健やかな体を育む体育学習の在り方の研究を進めることにより、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現できる力を培うことができると考え、本主題を設定した。

　【　研究の進め方　】

　　県学体研研究部では、小学校・中学校・高等学校といった１２年間の体育学習を通して、学習内容の確実な定着を目指し、校種の接続及び発達の段階に応じた指導内容・評価の工夫を行い、豊かなスポーツライフの実現に向けた児童生徒を育てるための具体的な実践を行う。そのために、小学校・中学校・高等学校の各研究部、特別支援教育部会や開催地区研究部との連携を図りながら、充実した「つながりのある学習」を求め、研究を進めることとする。

**３　研究の仮説**

　　小学校・中学校・高等学校・特別支援学校における体育・保健体育科の学習内容の確実な定着を目指し、心と体を一体としてとらえ、児童生徒の発達の段階に応じた指導方法・評価の工夫を行えば、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現できる力を培う学習が展開されるのではないか。

**４　研究の構想**

生きる力

たくましい体　豊かな心　すぐれた知性

|  |
| --- |
| めざす児童生徒像 |
| ○　各種の運動（種目）の楽しさや喜びを味わいながら、身体能力や体力を身に付けようとする児童生徒**（体）**  ○　自らの学習状況を適切に振り返り、課題解決に向けて自ら考え工夫しながら積極的に挑戦し、ねばり強く努力をする児童生徒**（心）**  ○　自分や仲間の力に気付き、運動の行い方や科学的な知識を理解しようとする児童生徒**（知）** |

|  |
| --- |
| 研究の基本方針 |
| ○　豊かなスポーツライフの実現を目指し、生きる力の育成を目指した保健体育学習の在り方を研究推進する。  ○　小学校・中学校・高等学校の接続や系統性を考慮し、発達の段階に応じた体育学習の在り方を研究推進する。  ○ 「技能」「態度」「知識、思考・判断」の内容に加えて「体力の向上」につながる保健体育学習の在り方を研究推進する。 |

|  |
| --- |
| 研　究　主　題 |
| **健やかな心と体をはぐくみ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現できる力を培う体育・保健体育科学習の在り方** |
| ○小学校部会主題　「健やかな心と体をはぐくみ、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる体育科学習を目指して」  ○中学校部会主題　「健やかな心と体をはぐくみ、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる保健体育科学習を目指して」  ○高等学校部会主題　 「健やかな心と体をはぐくみ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる保健体育科学習を目指して」  ○特別支援教育部会主題　 「健やかな心と体をはぐくみ、運動の楽しさを実感しスポーツライフにつなげる体育科学習を目指して」 |

|  |
| --- |
| 研　究　の　仮　説 |
| 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校における体育・保健体育科の学習内容の確実な定着を目指し、心と体を一体としてとらえ、児童生徒の発達の段階に応じた指導方法・評価の工夫を行えば、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現できる力を培う学習が展開されるのではないか。 |

|  |
| --- |
| 研　究　の　視　点 |
| ○　学習内容の確実な定着を目指した指導方法・評価の工夫 |

|  |
| --- |
| 研　究　の　内　容 |
| ①　課題を明確にした学習の在り方   1. 思考・判断を生かした、基礎的な運動の技能や知識の定着とその評価の在り方   　（コミュニケーションに視点を置いた授業づくり）   1. 単元計画の工夫 |